

## 事業完了報告書

### 調査研究期間等

調査研究期間	令和3年6月2日 ～ 令和4年3月15日
調査研究事項	<p>《委託研究：夜間中学における教育活動充実に係る調査研究》</p> <p>IV. その他夜間中学における教育活動充実に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒一人ひとりの学習の状況を的確に把握する方法及び個に応じた指導の在り方について</li> <li>・入学希望既卒者受け入れによる、課題の整理と解決方法について</li> <li>・日本語指導の充実の在り方について</li> </ul>
調査研究のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 形式卒業者の受け入れにより、若年層や高校進学を希望する生徒の入学希望者が増えるなど、生徒の多様化が進み、それに伴って新たな課題も生じている。 また、希望者が増加したとはいえ、まだまだ夜間学級に関する情報が行きわたっているとは言えず、さらなる広報が必要である。 課題を整理し、解決方法について調査研究することにより、多様な生徒の受け入れ拡大を図るための環境整備につなげる。</li> <li>○ 外国にルーツをもつ生徒が全体の8割を占めており、また、生徒個々の日本語の習熟度や学習状況についても様々である。そこで、個々の生徒に応じた指導方法等について研究することにより、基礎・基本の定着を図り、生徒一人ひとりの日々の生活の質の向上を目指す。</li> </ul>
調査研究の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 進学希望など、個々のニーズに応じた学習支援の在り方について研究し、実践につなげた。また、生徒の実態把握や、カウンセリング等支援の在り方について校内研修を実施した。これらをとおり、生徒支援体制の充実を図った。</li> <li>○ 調査研究期間をとおり、学習指導においては、特に生徒一人ひとりの日本語能力の実態把握の方法及びその結果を基にした日本語を読むこと、書くことの指導方法について調査研究し、基礎・基本の定着に向けた指導方法の確立につなげた。</li> </ul> <p>【6月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検討会議 『テーマ：学力の基礎となる日本語力を高めるための、教材の工夫について。個々の生徒の指導方法について。』 個々の生徒の指導方針を確認した。昨年度より月1回、スクールソーシャルワーカーに来ていただいているので、今年度の活用について確認をした。</li> </ul> <p>【8月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先進校視察 岡山市で開催される夜間中学校増設運動全国交流集會に参加予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため交流集會は中止になった。</li> </ul>

- ・校内研修 『夜間学級の歴史～実践の記録と今後の課題～』  
講師を招いて夜間学級の設立までの取組や創設について及びその後の歴史や現在に至る過程での実践について研修した。また、本学級の現状に照らした事例研究を行い、助言を得ることにより、今後の個別のニーズに対する指導方法に生かした。

【 9月 】

- ・個々の生徒の実態調査の実施

【 10月 】

- ・校内研修 『テーマ：実態調査の内容の分析』  
個々の生徒の学習状況や進路希望などについて校内での情報共有を図った。また、高校進学希望生徒については、新たに指導計画を立案した。生活面や心情面による心配事への相談の機会を持つために、必要に応じて、カウンセラーやソーシャルワーカーに意見を聞き、助言を反映させた。

【 11月 】

- ・校内研修 『テーマ：日本語の効果的な指導方法と評価方法について』  
日本語及び各教科の指導内容の検討を行うとともに、評価方法について学び、生徒個票に反映できるよう外部から講師を招く予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため延期した。

- ・先進校視察 大阪府で開催予定の全国夜間中学校研究大会に参加予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のためZOOMによる参加になった。ZOOMをとおして、入学希望既卒者受け入れの現状や課題の整理と解決方法について討議し、多様な生徒の受け入れ拡大を図るための環境整備につなげた。

【 2月 】

- ・職員研修 大阪府堺市立殿馬場中学校を訪問し、形式卒業者や日本語指導について研修する予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため中止になった。

- ・校内研修 『テーマ：日本語の効果的な指導方法と評価方法について』  
日本語指導の専門家を招き、生徒個々の日本語能力の実態把握をし、日本語及び各教科の指導内容の検討を行うとともに、日本語指導の充実や評価方法について学び生徒個票に反映した。

	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 総括会議 本学級における教育活動充実に関して、最終的な個々の生徒の学習状況を的確に把握する方法についての情報共有を図った。また、次年度の課題である個々の生徒に応じた指導の在り方や指導方法等の研究について協議した。</li><li>・ 文集作成 1年間の学習成果をまとめた文集を作成した。</li></ul>
--	---